

## 資料1 刺激モデル顔に対する性別特徴抽出

実験 B～D において使用した合成顔のモデル顔において計測を行なった箇所は次の図の通りである。尚、モデル撮影の時点で写真サイズの大きさに誤差が生じているため、各部位の長さ、細さに関しては比率として算出することとした。また、計測部位については根ヶ山（1993）を参考とした。

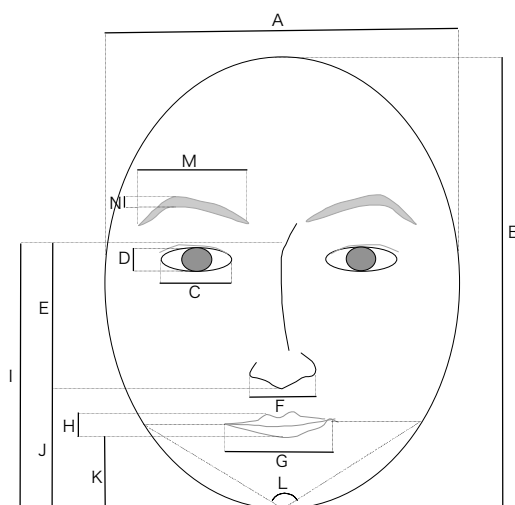


Figure 1 計測部位

Table 1 顔の各部位の計測結果

	男性モデル		女性モデル		t-test t
	average	SD	average	SD	
顔面部の長さ B/A	1.383	0.079	1.317	0.067	2.550 *
目の幅 C/A	0.184	0.015	0.183	0.013	0.286
目の細さ C/D	3.193	0.538	2.610	0.564	2.987 **
鼻の長さ E/A	0.408	0.025	0.378	0.027	3.271 **
鼻の細さ E/F	1.463	0.114	1.434	0.109	0.737
口の幅 G/A	0.341	0.025	0.320	0.028	2.270 *
口の細さ G/H	2.370	0.383	2.290	0.553	0.473
顔面下部の長さ I/A	0.919	0.052	0.828	0.035	5.625 ***
上下顎の長さ J/A	0.511	0.049	0.449	0.023	4.313 ***
下顎の長さ K/A	0.250	0.039	0.203	0.039	3.433 **
下顎の角度 L	101.750	4.973	107.438	3.777	3.616 **
眉の細さ N/M	0.161	0.045	0.096	0.028	4.754 ***

※ \*p<.05, \*\*p<.01, \*\*\*p<.001

計 12 箇所について数値を算出し、それぞれ平均値と標準偏差を導いた。また、各計測結果に対し男女間の t 検定を行なった結果も併せ、基本統計量を Table 1 にまとめた。

t 検定の結果、12 箇所中 9 箇所において有意な男女差が認められた。それぞれについて得られた傾向を以下にまとめることとする。

- ・ 顔面部の長さ B/A —————男性はより長く、女性はより短い
- ・ 目の幅 C/A —————男女差なし
- ・ 目の細さ C/D —————男性はより細く、女性はより大きい
- ・ 鼻の長さ E/A —————男性はより長く、女性はより短い
- ・ 鼻の細さ E/F —————男女差なし
- ・ 口の幅 G/A —————男性の方がより大きく、女性はより小さい
- ・ 口の細さ G/H —————男女差なし
- ・ 顔面下部の長さ I/A —————男性の方がより長く、女性の方がより短い
- ・ 上下顎の長さ J/A —————男性の方がより長く、女性の方がより短い
- ・ 下顎の長さ K/A —————男性の方がより長く、女性の方がより短い
- ・ 下顎の角度 L —————男性は比較的鋭角、女性はより鈍角
- ・ 眉の細さ N/M —————男性の方がより太く、女性の方がより細い

計測結果より、モデルの男女の顔には明らかな差が存在することが判明した。極めて限られた部位についてのみ比較を行なったことになるが、性別が異なることにより、顔形態に様々な違いが見出せるといえる。